

試 験 地 設 定 (昭和56年)

区分	自主
----	----

鹿児島 営林署

(様式1)

開発課題	マツノイ虫被害保安林の整備				期間	自56年度 至63年度	
開発目的	吹上浜飛砂防備保安林のマツノイ虫感染源を解消するため昭和56年度から保安林改良事業に着手しておりその整備状況について経年的に調査検討を加へて今後の指針を得る						
設 定	場 所	営 林 署	担 当 区	国 有 林	林 小 班		
		鹿児島	吹 上	堀 川	781		
	数 量	面 積	数 量				
		0.50 HA	646本				
	設 定 年 月 日	57. 2. 27	終 了 年 月 日	57. 3. 23			
担 当	営 林 局	課 係					
	営 林 署	経 営 課	経 営 課 長 係	治 山 企 画			
地況及び 気 象	標 高	万 位	傾 斜	基 岩	土 壤 型	土 性	
	15m	0	平	砂 岩	未熟土	砂 土 (砂)	
	深 度	堅 密 度			地 位		
	深	粗			スギ ヒノキ		

林	林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹 高	材 積	本 数	相対照度	下層植生
	20 ~ 50	人工	クロマツ	100	12	11	(0.07) 4.20	60	95	ハゼノキ ススキ ヤブガラシ
況	設定前の施業経緯									
	当該保安林は吹上浜飛砂防備保安林として肉締り森林であるがその林相がクロマツ一帯林であるため依然として松くい虫の被害が続出している。従って毎年空中散布を主体に防除に努めているところである。本区域については隣接国有林にシバコ及び杉の栽培が多く止むなく人力による地上散布を行つているところであり徹底防除に至らず松くい虫の巣窟と化している。現在被害木伐採により伐跡地はそのまゝに任せている。									
全 体 計 画	吹上浜保安林に広葉樹導入に対する基本方針									
	現在マツで胸高直径30cm以上或いは樹令50年生以上の壯年マツを伐採して広葉樹に一斉更新(80%)更新にあつては松くい虫被害木を伐採するに止めその伐跡地を穴埋めの的に広葉樹を植栽することを原則とし長年月かけて広葉樹林に更改する。									

- 記載要領
- 区分は指示、自主、任意課願別とする。
 - 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、林試等の指導関係を記入する。

試 験 地 設 定

区分 自主

鹿児島 営林署

(様式2)

実 施 計 画

1. 場所
吹上地区区部内堀川国有林78林班の小班
2. 植栽計画
 - (1) 面積 0.5ha 新植
 - (2) 植栽樹種及び数量

樹種	数量	径級	価格	摘要
アラカン	4	12~42	5,200	山取移植木 緑化木
イヌノキ	104	"	1,4100	" "
クスノキ	151	"	450,900	" "
マホウシ	20	"	28,500	養生木
モクノキ	2	"	2,600	山取移植木
マゴツバキ	50	"	88,600	" "
計	331		716,800	

- (3) 植付(客土)
別紙植付作業仕様書のとおり
- (4) 樹種別配置
別紙植栽配置図のとおり
- (5) 請負直営別 請負
- (6) 相手方 日置地区森林組合
- (7) 総経費 1,647,100円
- (8) 支出科目 治山事業費 国有林野内直轄治山事業費
工事費
- (9) 作業期間 昭和57年3月1日
至昭和57年3月25日

試験設定図

別紙のとおり (植栽配置図)

試験地位置図

別紙のとおり。

記載要領 1. 実施計画は設定方法及び作業方法等具体的に記入する。

評価および普及計画

区分	自主
----	----

鹿児島 営林署

(様式5)

本ヶ所、林縁は約20m中に巨ク広葉樹が生育している。松は松くい虫の被害木の伐跡地帯中径木が疎で本ヶ所へ56年度から保安林改良事業に着手しており、今後七被害木伐跡地及び疎ヶ所へ樹種の更改の必要を認める。樹種の転換については、林縁の広葉樹の生育が良好であるので、本植栽樹種と順当な生育が期待されることと見られる。

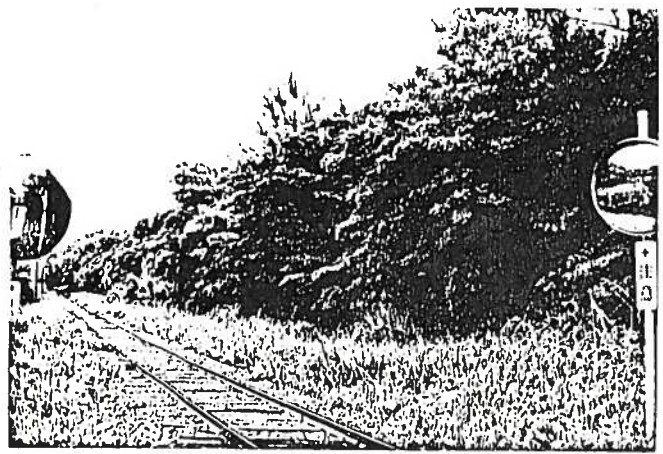
6

状 況 写 真

区分 自主

鹿児島 営林署

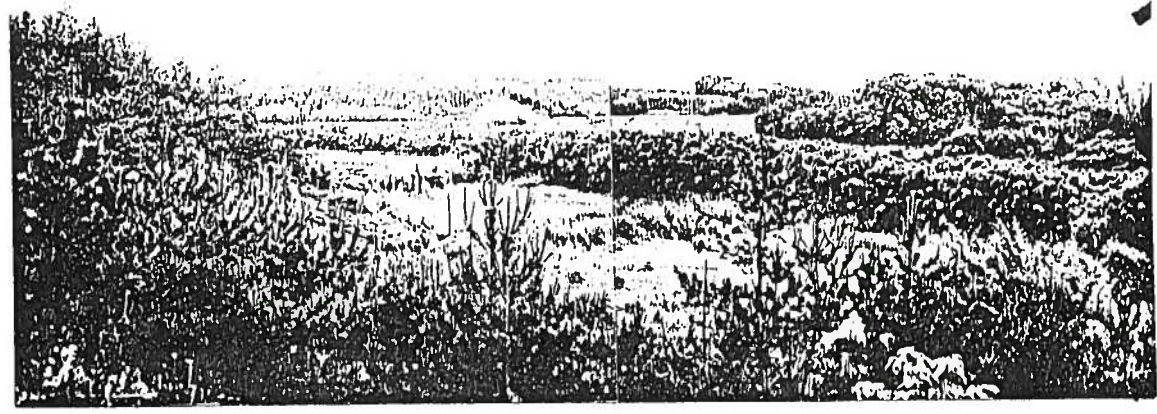
(様式 6)



① 70 林班



② 71 林班



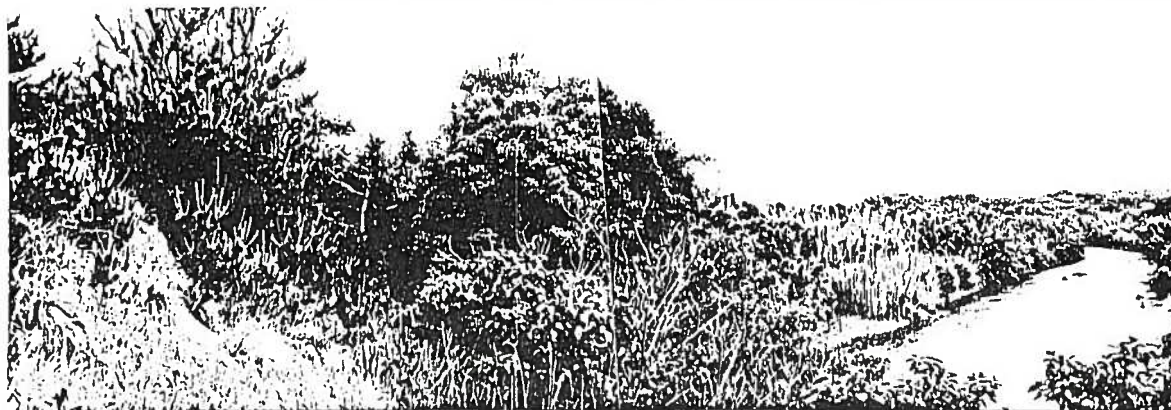
③ 72 林班

状 況 写 真

区 分 自 主

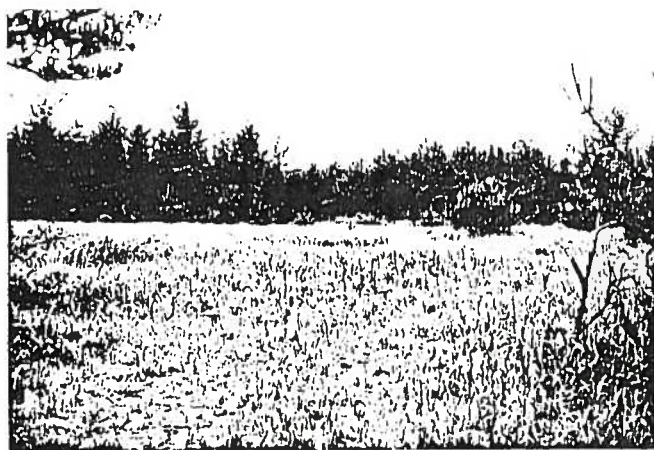
鹿 児 島 宮 林 署

(様 式 6)



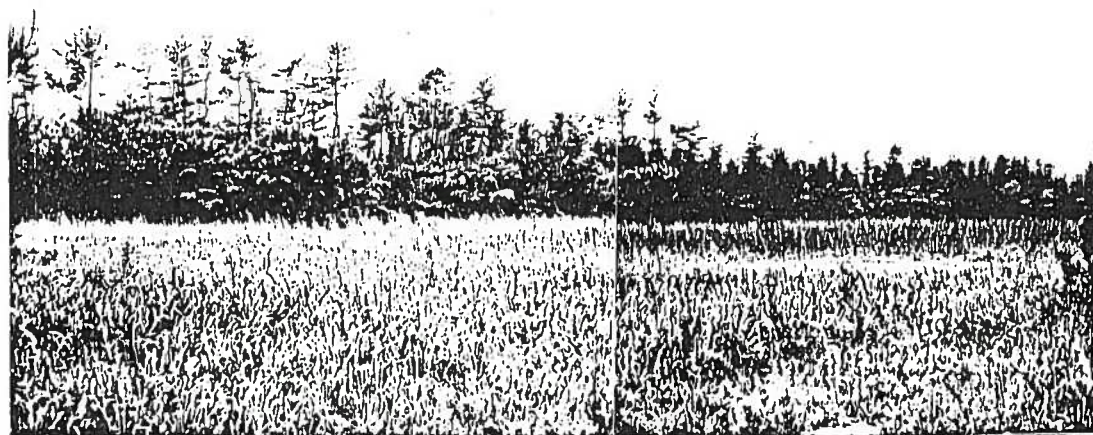
④

72 林 班



⑤

73 林 班



⑥

73 林 班

状 況 写 真

区 分 自 主

鹿 児 島 営 林 署

(横 式 6)



⑦

73 林 班



⑧

78 林 班

状 况 写 真

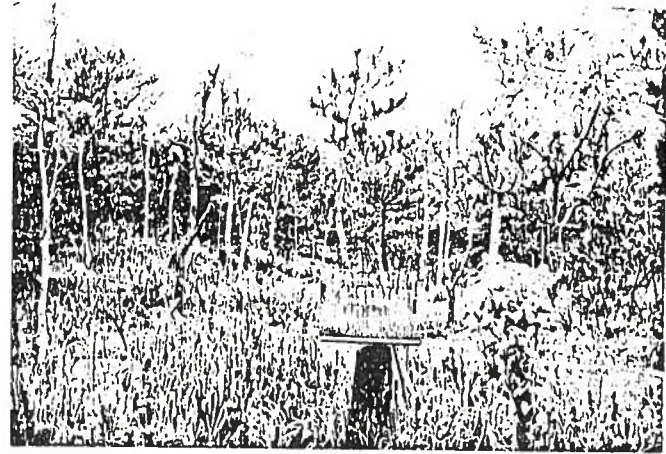
区 分	自 主
-----	-----

鹿 児 島 營 林 署

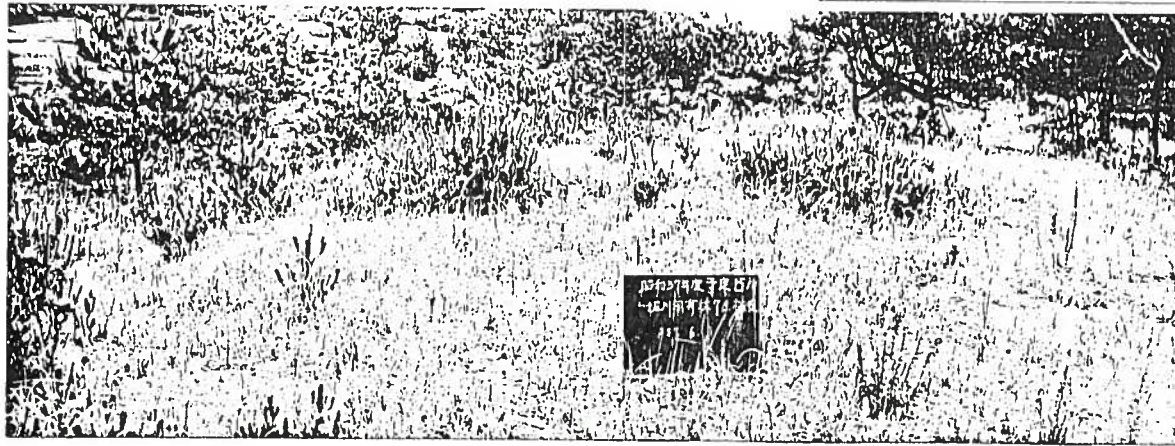
(様 式 6)



⑨ 78 林 班



⑩ 78 林 班



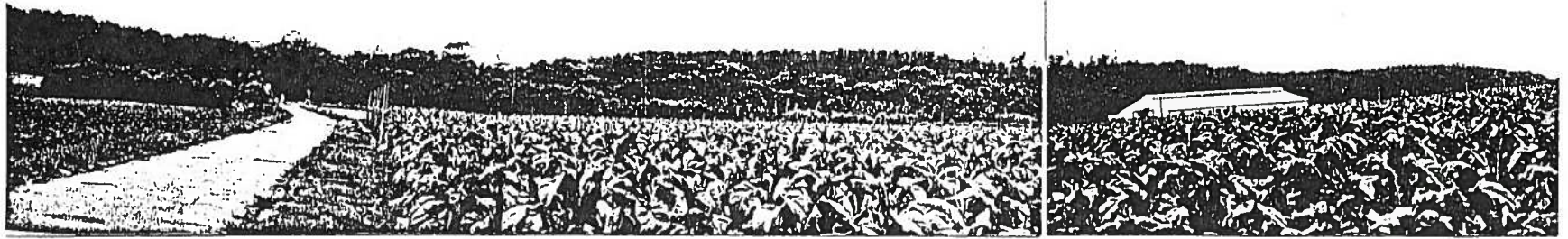
⑪ 78 林 班

状 況 写 真

区 分	自 主
-----	-----

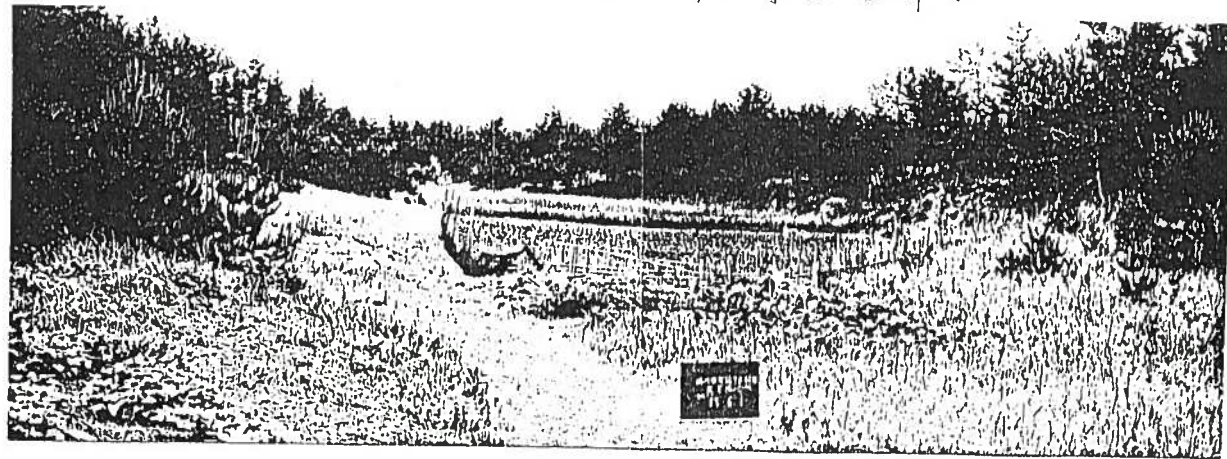
鹿 児 島 營 林 署

(様 式 6)



⑬ 78 林 瑤

道路の右 吹上町. 左 金峰町



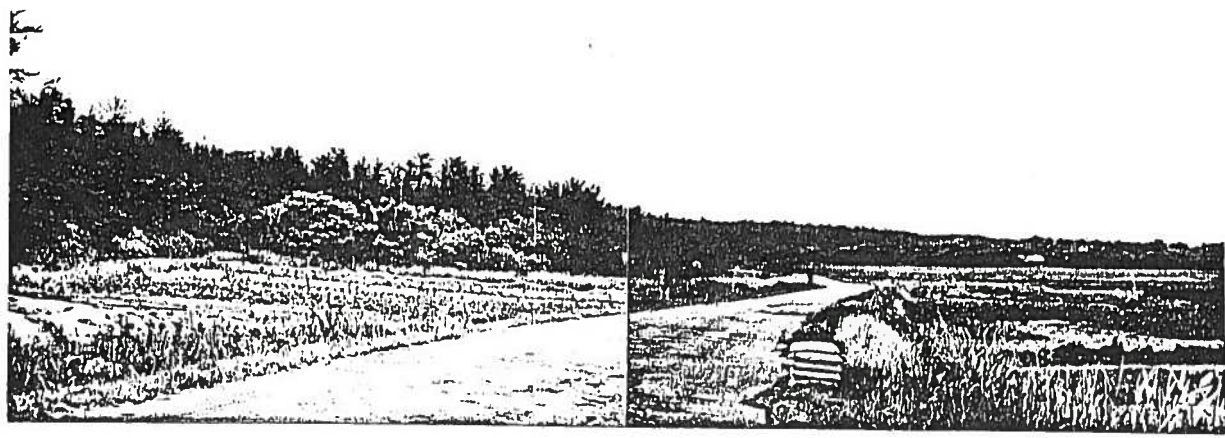
⑭ 78 林 瑤

状 況 写 真

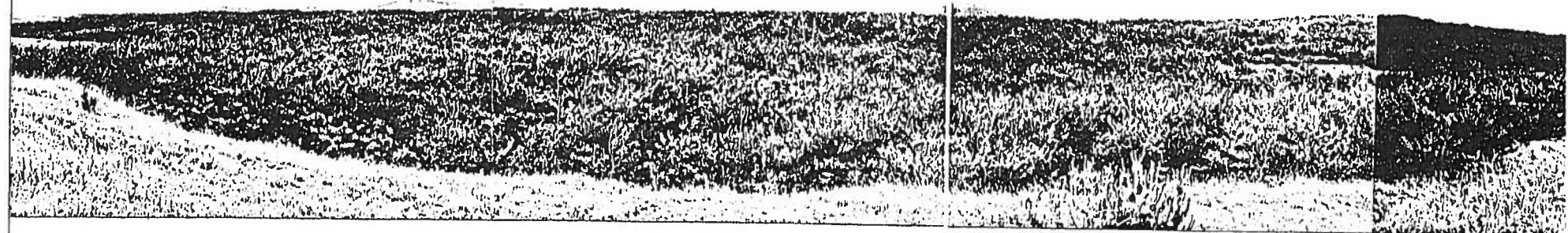
区 分	自 主
-----	-----

鹿 児 島 営 林 署

(模 式 6)



①4 75 林 班



①5 74. 75 林 班

状 況 写 真

区 分	自 主
-----	-----

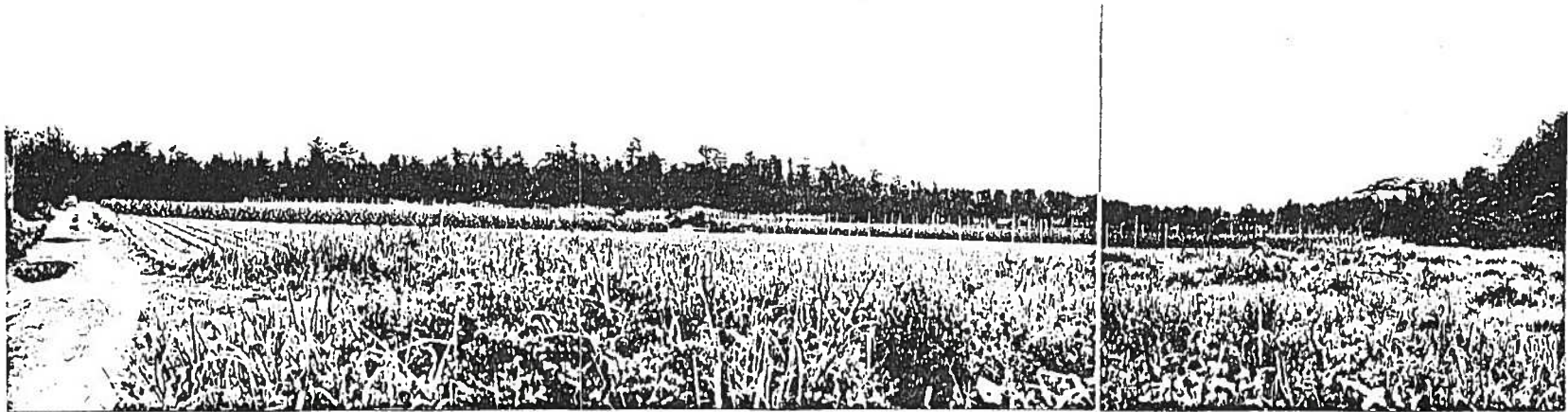
鹿 児 島 營 林 署

(様 式 6)



16

75 林班



17

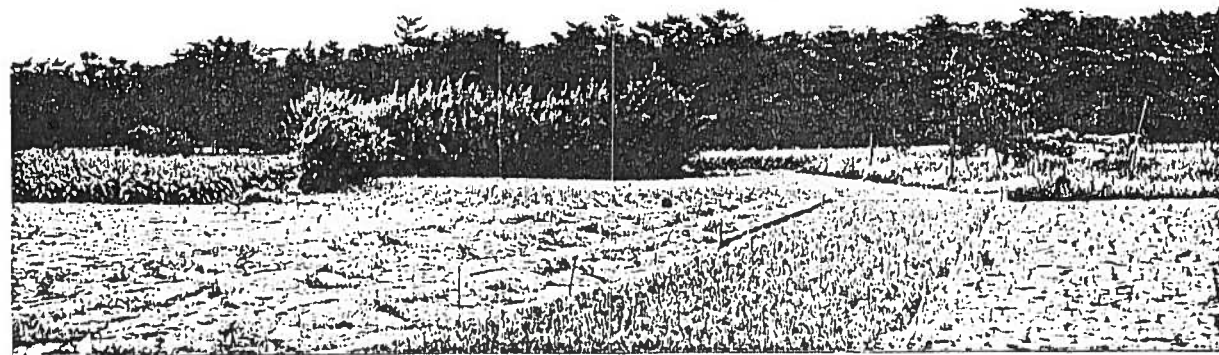
76 林班

状 況 写 真

区 分	自 主
-----	-----

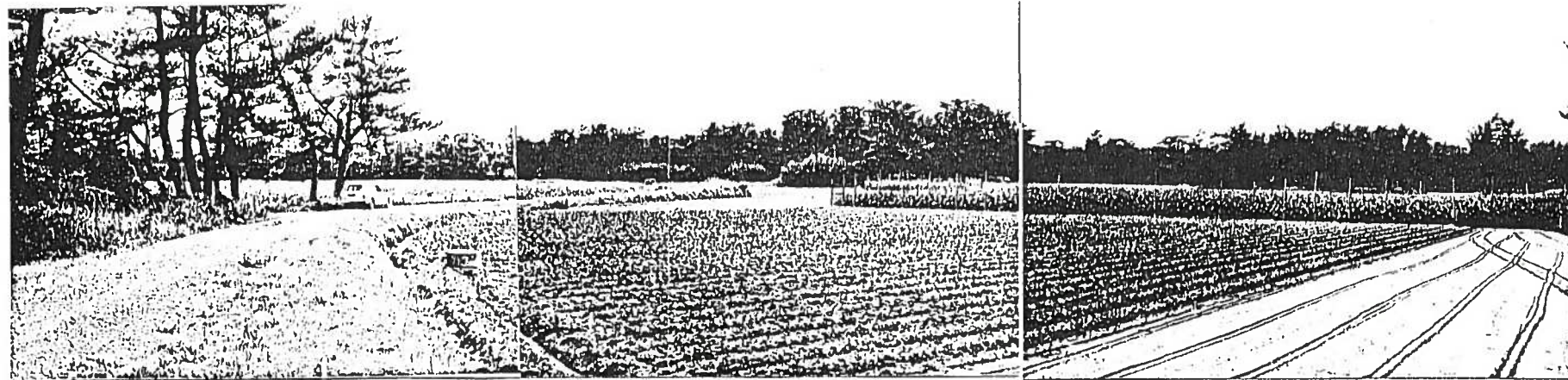
鹿 児 島 營 林 署

(様 式 6)



18

76 林 班



19

77 林 班

状 況 写 真

区 分	自 主
-----	-----

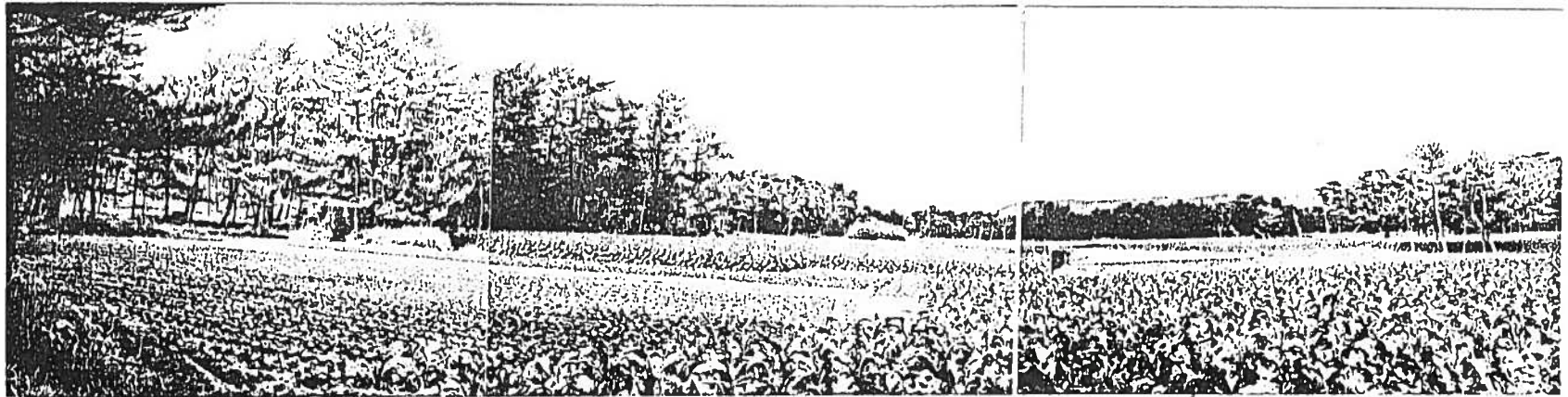
鹿 児 島 営 林 署

(様 式 6)



②0

77 材 班



②1

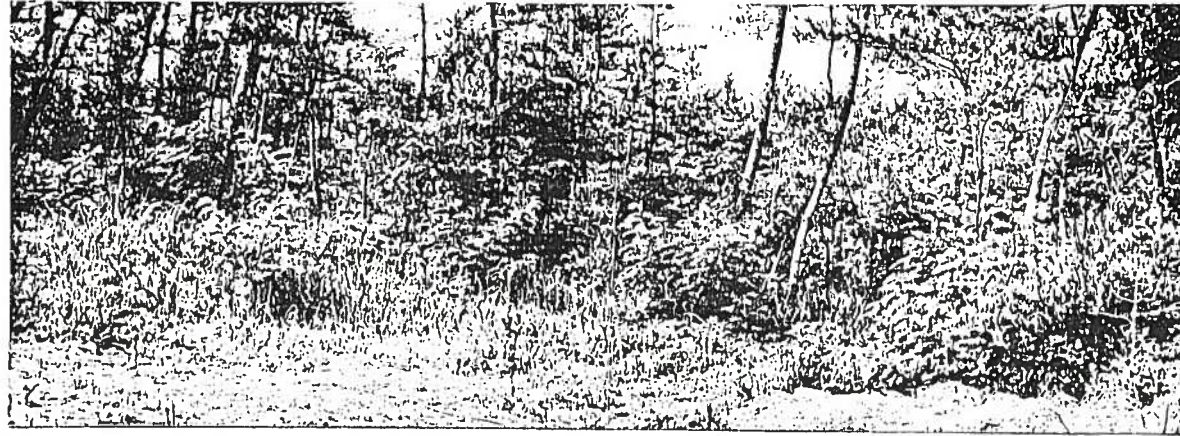
77 林 班

状 況 写 真

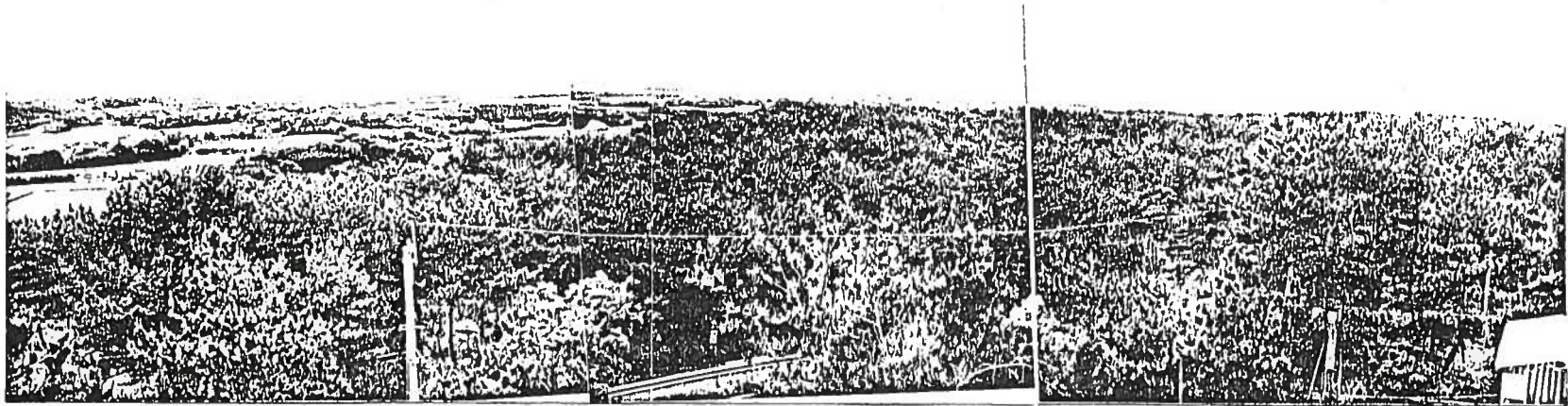
区 分	自 主
-----	-----

鹿 児 島 営 林 署

(様 式 6)



22 79 林班



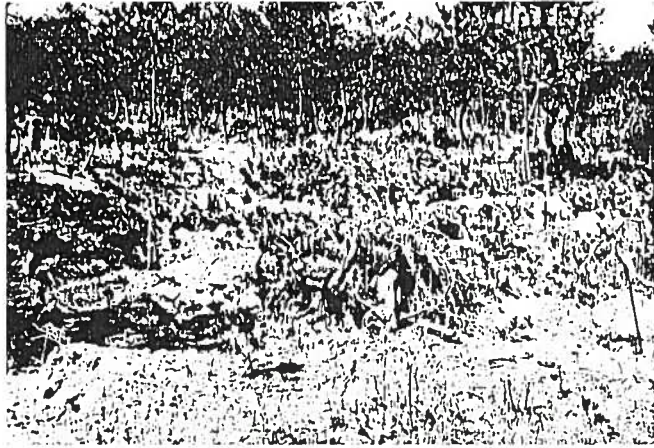
23 72 林班

状 况 写 真

区分 自 查

鹿 児 島 营 林 署

(様 式 6)



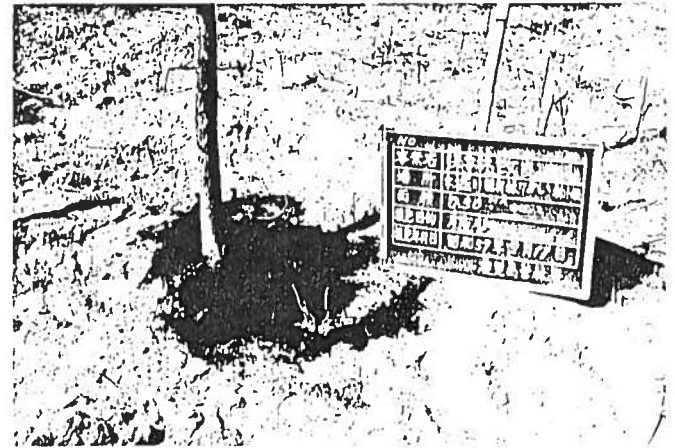
堀川78" 実行前 (57.3.3)



堀川78" 実行前 (57.3.3)



堀川78" 植休 (92) 57.3.11



堀川78" 植休 (92) 57.3.11

状 況 写 真

区分 自主

鹿児島 営林署

(様式6)



堀川 2811 仮植途中 57.3.18



堀川 2811
仮植済
57.3.18



堀川 2811 畚土(畚土) 57.3.18



堀川 2811
27811
仮植
57.3.23

状 况 写 真

区分 自左

鹿兒島 営林署

(様式 6)



掘り 2801, 12 植体完了
57.3.18

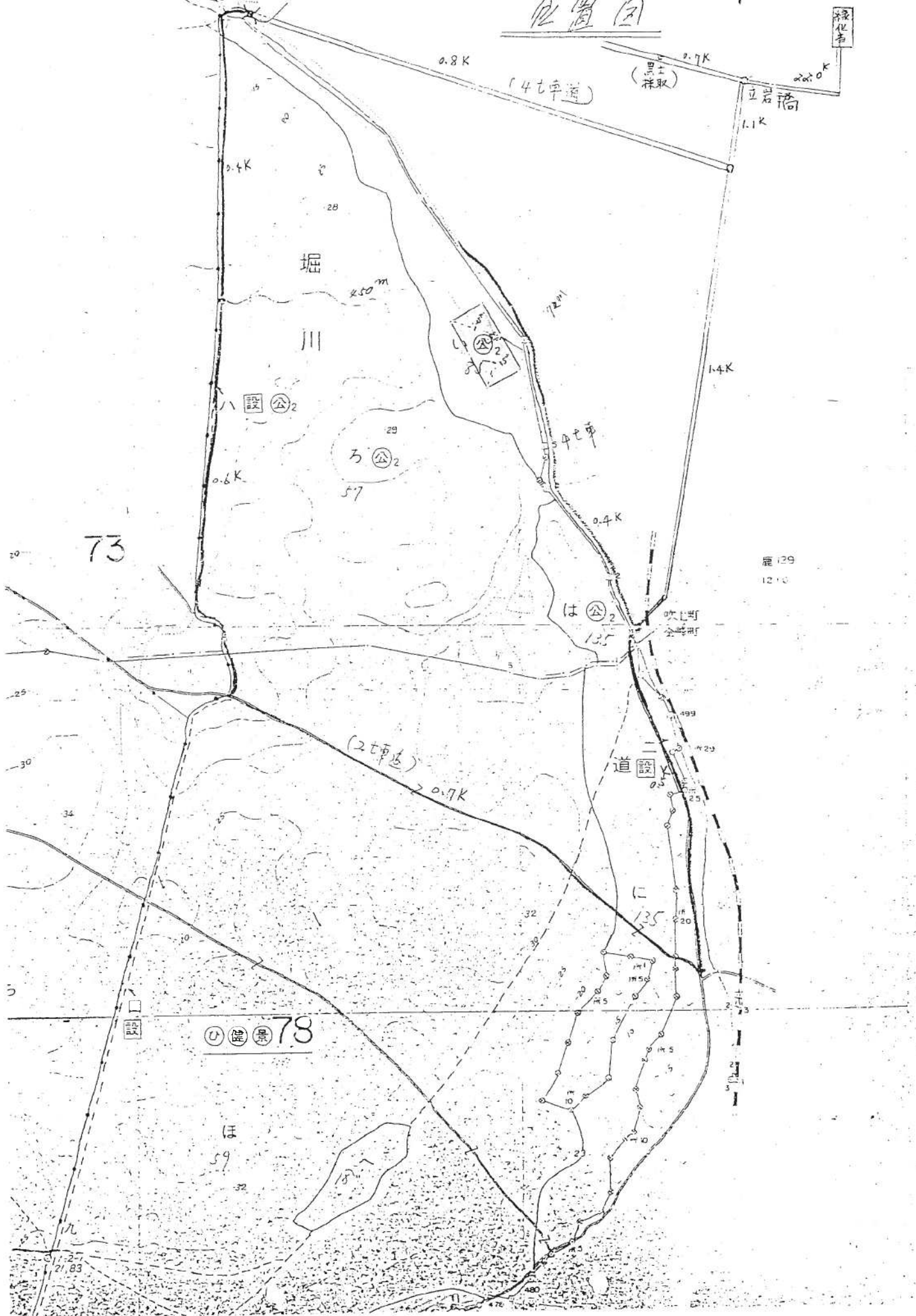
掘り 2811
1711 植体完了
57.3.18

鹿嶋市立川堀川地区の位置図

位置図

鹿嶋市 963

緑化市



73

鹿嶋市 1210

鹿嶋市 78

59

九

21.83

植付作業 仁標書

1. 作業計画

この作業着手前に手持ち働き 1月の植付可能本数、植付日数等を検討し、苗木受領後、後継期間中の植付を完了し、より計画を立て、苗木引渡日、および引渡場所、保管場所等について、監督員と団部の打合せを行うこと。

2. 苗木の引渡し

- (1) 苗木は、甲が指定する場所において引渡しをせしめ、乙は立会して受領すること。
- (2) 引渡しを受けた苗木が衰弱し、植付後の活着が危ぶまれる場合は、その処置について 双方に協議する。

3. 苗木の保管

- (1) 引渡しを受けた苗木は、監督員と協議して できる限り植付場所の近辺日陰に保管すること。
- (2) 苗木は保管場所の横に並べ、コモ等で 直射日光を遮断する。苗木が乾燥防止については十分は措置を講ずること。

4. 植付要領

- (1) 植付地を中心として、100cm四方に 落葉等の地被物を取除き、中心に植穴を掘る。植穴の寸法は、直径80cm、深さ60cmを基準とする。
- (2) 植付にあつては、植穴の底に黒土を約0.236m³入れ、その上に苗木を垂直に 据える。
- (3) 側方は、根元(鉢)と植穴との間の空隙が2cm以内に黒土を入れ、
- (4) 踏付は、根元の鉢を破壊しないより、棒を使い 植穴の外周から下に 向けに鎮圧する。
- (5) 根元から30cm程度の高さが植付後の水平面とほぼより、土を寄せ、落葉等の 地被物で根元を被覆する。

5. 作業上の留意事項

苗木の運搬及び植付の際は、コモ等を使用して苗木が乾燥、根の損傷をしないより、十分留意すること。

6. その他

その他必要は事項については、監督員の指示に従うこと。

苗木の配列については、全林を帯状巧みに 団部に配置し、肥料木の互に配列の上、植付場所の配列については、監督員との協議による。

試 験 地 設 定 (昭和57年)

区分	自主
----	----

藤岩島 営林署

(様式1)

開発課題	マツノ虫被害、被害域整備				期間	自56年度 至60年度	
開発目的	以上添殖の防備被害域のマツノ虫感染源を解消するため、昭和56年度から被害域に常緑松を植栽し、その整備状況について経過の年毎調査検針を加えて今後の方針を得る。						
設 定	場 所	営 林 署	担 当 区	国 有 林	林 小 班		
		藤岩島	吹上	塘川	7811		
	数 量	面 積	数 量				
		1.10	1086				
	設 定 年 月 日	58.2.28	終 了 年 月 日	58.3.25			
担 当	営 林 局	課 係					
	営 林 署	経 営 課	経 営 課	係			
地 況 及 び 気 象	標 高	方 位	傾 斜	基 岩	土 壤 型	土 性	
	15m	0	平	砂岩	未熟土	砂土(砂)	
	深 度	堅 密 度				地 位	
	深	粗				スギ	ヒノキ

林	林 令	林 種	樹 種	混交率	胸高直径	樹 高	材 積	本 数	相対照度	下層植生
	20 ~ 25	人工	9127	100	12	11	4.55	65	95%	不草 40% 11%
況	設定前の施業経緯									
	松ノ虫被害未収跡地、昭和56年度実施方針に沿って 植栽									
全 体 計 画	本該被害域は昭和56年度防備被害域であり、林相の9127一帯林 であり、松ノ虫の被害の減少、被害域の樹種、林相改良試験地 に設けられたもので、本日も経過に、様式2の実施計画に基 づき実行される。									

- 記載要領
1. 区分は指示、自主、任意課題別とする。
 2. 全体計画欄は年度別、実施事項及び目標、また、林試等の指導関係を記入する。

試 験 地 設 定

区分 白土

森光学 営林署

(様式2)

実 施 計 画

1. 場所
昭上地区内堀川国有林78林班11小班
2. 植栽計画
 1. 面積 1.10ha 新植 0.60ha 補植 0.50ha
 2. 植栽樹種及個数

樹 種	数 号	規 格		摘 要
		幹 周 cm	樹 高 m	
クス	217	15~59	2.5	山取新植木 62本 養分木 155本
イヌ	218	10~39	2.5	山取新植木
ツバキ	143	10~44	2.5	,
ササキ	7	20~36	2.5	,
ヤマモモ	85		2.0未満	養分木
マサバシ	190		,	,
モクマオ	36		1.0未満	,
アツクツク	184		,	,
計	1086			

3. 植休(密土)
別紙 植休作業仕様書のとおり
4. 樹種別配置
別紙 植栽配置図のとおり
5. 幹周 直幹別 直幹 12材外 1220本 幹周72外5種 866本
6. 相手方 日置地区森林組合
7. 総経費 3,894,100.-
8. 作業期間 自58.2.1 至 58.3.25

試験設定図

別紙のとおり (植栽配置図)

試験地位位置図

別紙のとおり

記載要領 1. 実施計画は設定方法及び作業方法等具体的に記入する。

4

試験経過記録

区分 自宅

鹿兒島 営林署

(様式4)

栽立本数調査								植樹発生状況調査						
昭和56年度植栽4折								昭和58年10月26日調査			昭和59年4月12日調査			
番号	樹種	植栽枚	58年10月 栽立本数	58年10月 栽立割合	59年4月 栽立本数	59年4月 栽立割合	備考	番号	面積	発生状況 樹種	本数	発生状況 樹種	本数	備考
1	スズ	106	173	98.0%	173	98.0%		101	1m ²	71227	35	71227	37	1002 56年度植栽4折
2	スズ	122	129	97.7	129	97.7		2	1	1	1	1	1	
3	ツバキ	101	99	98.0	99	98.0		3	1	1	13	1	14	
4	アサギ	76	48	63.2	24	32.0		計						
5	アサギ	50	47	94.0	47	94.0		104	1m ²	71227	4	71227	4	1001 57年度植栽4折
6	アサギ	70	70	100.0	70	100.0		5	1	1	9	1	10	
7	アサギ	25	19	76.0	4	20		6	1	アサギ	1	アサギ	1	
8	アサギ	4	4	100.0	4	100.0		計						
9	アサギ	2	2	100.0	2	100.0								
計		646	591	91.5	552	85.4								
昭和57年度植栽4折														
番号	樹種	植栽枚	58年10月 栽立本数	58年10月 栽立割合	59年4月 栽立本数	59年4月 栽立割合	備考							
1	スズ	190	181	95.3%	181	95.3%		6	1	71227	3	71227	3	
2	スズ	122	122	99.5	122	99.5								
3	アサギ	140	128	91.5	128	91.5								
4	アサギ	108	61	56.5	34	31.5								
5	ツバキ	92	90	97.8	90	97.8								
6	アサギ	88	87	97.4	87	97.4								
7	アサギ	11	8	72.7	3	27.3								
8	アサギ	7	7	100.0	7	100.0								
計		776	684	88.1	662	85.3								

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録

区分 自主

鹿児島 営林署

(様式4)

成長量調査											成長量調査										
50号 10月26日調査					10号 4月12日調査						10号 10月26日調査					10号 4月12日調査					
番号	樹種	胸径	樹高	根径	胸径	胸径比	樹高	樹高比	根径	根径比	番号	樹種	胸径	樹高	根径	胸径	胸径比	樹高	樹高比	根径	根径比
1	1114	6.8	4.40		6.8	0	4.50	21			22	1114	5.0	3.98		5.0	0	4.02	1		
2	2222	2.9	2.13		2.9	0	2.14	0			23	1114	8.5	2.99		8.5	0	2.86	0		
3	22	9.7	4.98		9.7	0	4.64	4			24	22	12.0	3.99		12.0	0	3.88	2		
4	112	4.1	2.53		4.1	0	2.69	6			25	2222	1.1	1.99		2.0	82	1.99	0		
5	22	12.9	3.42		12.9	0	3.42	0			26	22	5.3	4.33		6.0	13	4.49	4		
6	2222	-	1.82	11.0	-	換換		0			27	1114	5.0	3.6		5.0	0	3.7	3		
7	22	7.1	2.96		7.1	0	3.01	2			28	2222	0.7	1.7		1.5	114	1.7	0		
8	22	2.1	2.14		2.1	0	2.18	2			29	22	6.4	4.25		6.5	2	4.25	2		
9	2222	-	1.30	10.0	-		1.30	0	26.0	11.0	30	112	6.3	2.91		6.3	0	2.80	3		
10	112	6.5	2.27		6.5	0	1.15	2			31	22	5.3	2.57		5.3	0	3.99	6		
11	2222	-	0.36		-	換換		0			32	22	5.6	2.67		5.6	0	2.76	0		
12	22	10.5	3.92		10.5	0	3.96	1			33	22	7.2	2.70		7.2	0	2.80	4		
13	22	8.1	4.36		8.1	0	4.26	0			34	22	6.5	3.98		6.5	0	3.99	3		
14	112	6.4	3.93		6.4	0	3.98	0			35	2222		1.19	5.0		換換				
15	2222	0.9	2.05		2.0	122	2.05	0			36	22	5.5	2.72		5.5	0	2.72	0		
16	22	1.6	1.96		2.2	28	1.96	0			37	22	1.6	1.94		1.6	0	1.99	2		
17	22	5.1	2.70		5.4	6	2.94	1			38	22	7.0	3.66		7.0	0	3.90	7		
18	2222	-	0.45		-		0.45	5			39	2222	1.4	2.05		2.0	43	2.10	2		
19	2222	-	1.08	7	-	換換					40	112	9.2	2.59		9.2	0	2.64	3		
20	22	6.4	2.21		6.4	0	2.21	0			41	2222		0.16				0.16	0		
21	22	8.6	3.04		8.6	0	3.08	1			42	22	11.6	3.04		11.7	9	3.15	4		

記載要領 1. 調査結果及び考察を記入する。
2. 状況写真は別途整理する。

4

試験経過記録

区分 自生

鹿児島 豊林署

(様式4)

成長量調査					成長量調査															
昭和25年10月26日調査					昭和25年4月12日調査															
番号	樹種	樹高	樹高	根径	樹高	樹高	樹高	樹高	根径	根径										
		cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm										
43	ササ		0.20	2.0			0.20	0	2.0	0										
44	ササ	5.6	2.61		5.6		2.64	1												
45	ササ	1.8	2.10		1.8		1.57	0												
46	ササ	5.6	2.57		5.7	2	2.57	0												
47	ササ	5.5	2.50		5.5	0	2.20	1												
48	ササ		0.85	3.5																
49	ササ		0.96	3.8																
50	ササ	4.5	2.40		4.5	0	2.40	0												
51	ササ	2.6	0.30																	
52	ササ	8.9	2.65		9.0	1	2.65	0												
53	ササ	1.4	1.64		1.5	7	1.61	5												
54	ササ	4.7	2.02		4.7	0	2.14	9												
55	ササ	2.6	2.10		1.6	0	2.10	0												
56	ササ	5.0	2.90		5.0	0	2.90	0												
57	ササ	6.8	2.87		7.0	1	2.87	0												
58	ササ	4.0	1.56		1.0	0	1.57	0												
59	ササ	4.6	1.56		4.6	0	1.57	0												
60	ササ	1.3	1.70		2.0	54	1.82	1												
	計																			

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

評価および普及計画

区分 白土

海岩町 営林署

(様式5)

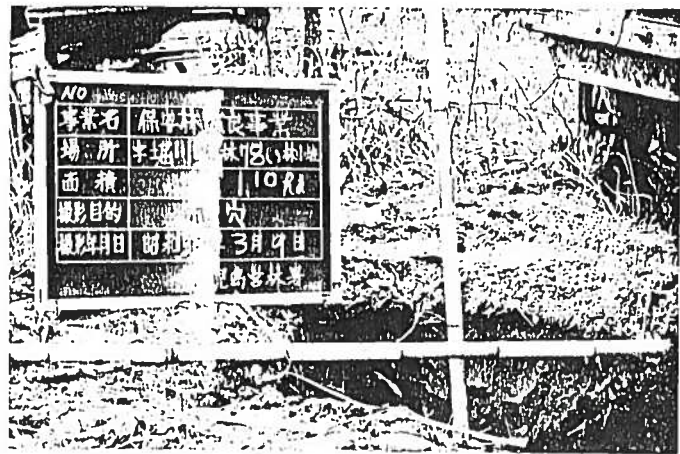
1. 56. 57年度と比、モリ材、和ウチノを除外し、成長良好とする。和ウチノは、地味条件モリ材は必要にして、転換と見做す。
2. 前回調査(58年10月)から6年ぶりでの調査にて、現在生長上の傾向、成長量は教示す。
3. 前回と変化なし。

状 況 写 真

区 分 白土

鹿兒島 官林署

(様式6)



堀川7811 植穴(植穴)
58.3.9



堀川7811
植穴(密土)
58.3.9



堀川7811
植穴了
58.3.26



堀川7811
植穴
密土敷
58.3.4

状 况 写 真

区分 白土

鹿儿岛 营林署

(様式 6)



埴川 984 樹林完了合界 58.3.26



埴川 984 樹林完了 58.3.26

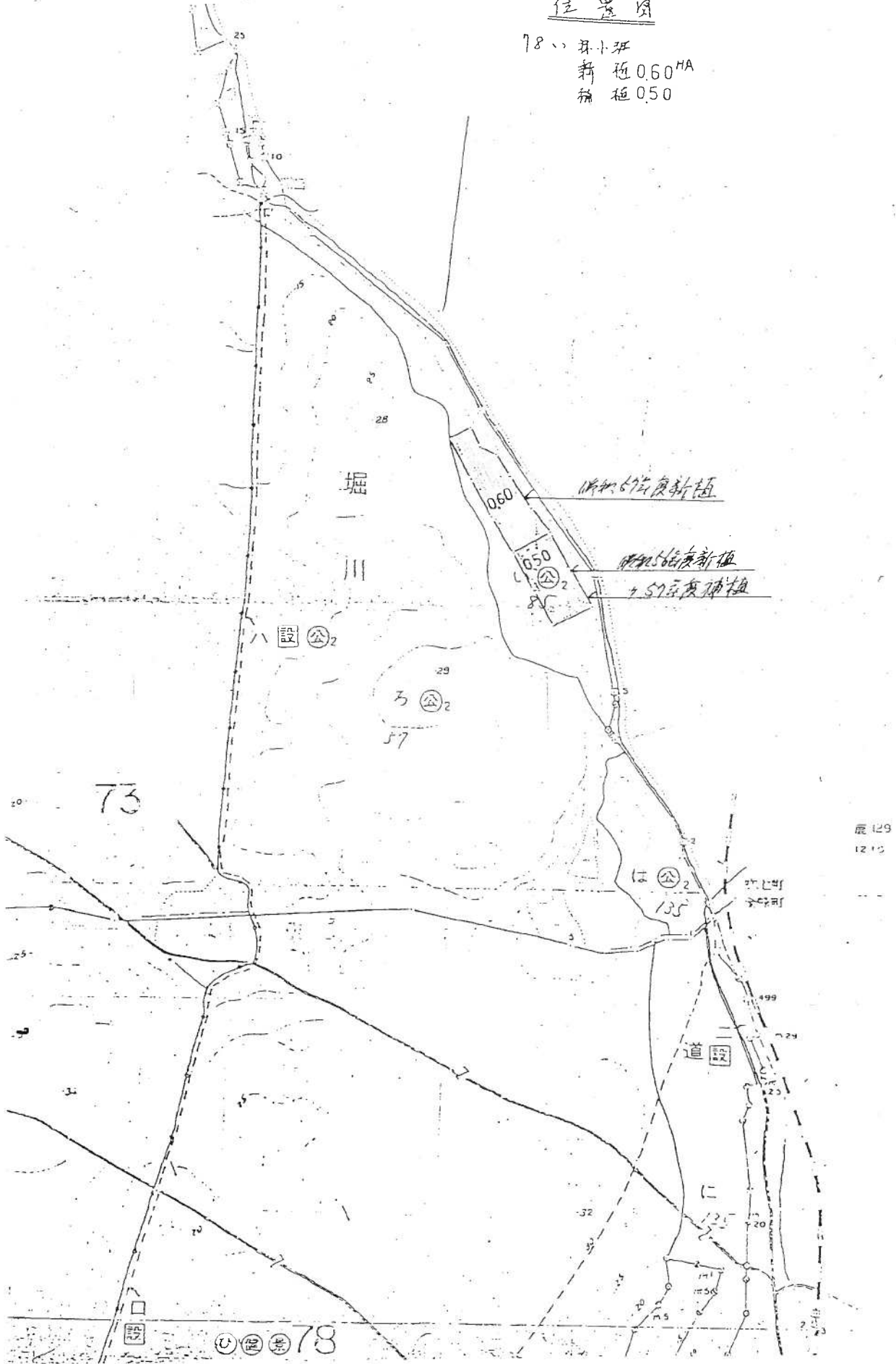


埴川 984 樹林完了 58.3.26

昭和57年度 堀川国有林 保存改良事業

位置図

78 林小班
新植 0.60HA
補植 0.50



展 129
1210

1980

78

植付作業法様書

1. 作業計画

(1) 乙は作業着手前、甲の樹木の掘取・搬入・植付本数等を検討し、樹木受領後短期向の植付を完了するよう計画を立て、樹木の引渡月日・場所等について監督員と細部の打合せを行うこと。

(2) やむを得ない事由で当日中の植付できない分については完全な保護対策を講ずること。

2. 樹木の引渡

樹木は甲が指定する場所において引渡すこととし乙は立会して受領すること。

3. 作業要領

(1) 掘取り

根鉢径は、根元径の約4倍以上とし、鉢高は鉢径の3分の2以上とする。

なお、鉢巻きは鉢の周囲に縄巻きを行い、さらに土等で堅固に根巻きすること。

(2) 樹木の運搬

ア 植付現場まで運搬する樹木は、当日の植付予定本数にともなう、植え残った樹木はこも等で被覆すこと等完全な保護措置を講ずること。

イ 運搬に当っては、必ずこも等で梱包し、樹木が乾燥したり、損傷しないようすること。

(3) 植付

ア 山取移植木

(1) 植付地裏を中心として1m四方の落葉等の地被物を取り除き中心に植穴を掘りこすこと。

植穴の寸法は、直径 80cm 、深さ 60cm を基準とすること。

(2) 植付に当っては、植穴の底に畚土を約 0.036m^3 入れ、その上に樹木を垂直に立て、根鉢と植穴との間には畚土を細かく研いて入れ、棒で土を突き入れて根鉢が破損しない程度に鎮圧する。植付後は深さ $10\sim15\text{cm}$ の水鉢を盛り、さらに落葉等で被覆すること。

イ 巻成木

(1) 植付地裏を中心として 60cm 四方の落葉等の地被物を取り除き中心に植穴を掘りこすこと。

植穴の寸法は、直径 50cm 、深さ 45cm を基準とすること。

(2) 植付に当っては、植穴の底に畚土を約 0.018m^3 入れ、その上に樹木を垂直に立てる。

根鉢と植穴との間には客土を細かく砕いて入れ、棒で土を突き入れて根鉢が破損
 しない程度に鎮圧する。植付後は深さ10~15cmの水鉢を掘り、こらの落葉等で被覆すること。
 ② 客土

客土量は、山取移植木は1本あたり0.14m³、養成木は1本あたり0.05m³を基準とする。こと。
 4. 作業上の留意事項

- (1) 植穴の位置が伐根あきには岩石等にあたりとせば、左右に適宜ずらすこと。
- (2) 植穴の木の根あき石等はよく取り除くこと。
- (3) 落葉等の地被物を植穴に混入しないよう注意すること。
- (4) 植付後は必ず見廻り、植付不良のものは手直しを行うこと。
- (5) その他必要事項については監督員の指示を受けようこと。

(自主課題)

昭和57年度技術開発実施報告書

課	種別	継続	経常別 経常	1-7	担 当	治山課	開発 箇所	鹿児島	期 間	昭和 56年度 ～ 昭和 57年度	千 円	技 術 開 発	経費	品名	設備	単価	金額 千円
	種別	継続	経常別 経常	1-7						物件費							
題	松くい虫の被害保安林の整備												役務費				
目的	吹上浜継砂防備保安林の松くい虫感染源を解消するために、昭和56年度から保安林改良事業に着手する予定であり、その整備状況について経年的な調査検討を加えて今後の指針を得る。												人件費		人		
													計				

全体計画	実施経過	当年度分																																																						
		実施計画	実施結果	評価および改善計画																																																				
<p>1. 松くい虫感染源に係る問題点とその対策。</p> <p>2. 調査事項</p> <p>(1) 植栽樹種選定</p> <p>(2) 植栽本数調査</p> <p>(3) 成立本数調査</p> <p>(4) 生長量調査</p> <p>(5) 稚樹発生状況調査</p>	<p>1. 昭和56年度植栽</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>本数</th> <th>樹種</th> <th>本数</th> </tr> <tr> <td>クス</td> <td>186^本</td> <td>ヤマモミ</td> <td>50^本</td> </tr> <tr> <td>イス</td> <td>132</td> <td>マアハシ</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>ツバキ</td> <td>101</td> <td>モクマオ</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>キョクワ</td> <td>76</td> <td>モクノキ</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>アラカ</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td colspan="3">646本</td> </tr> </table>	樹種	本数	樹種	本数	クス	186 ^本	ヤマモミ	50 ^本	イス	132	マアハシ	70	ツバキ	101	モクマオ	25	キョクワ	76	モクノキ	8	アラカ	2			計	646本			<p>1. 松くい虫感染源解決策に係る箇所選定と地元対策。</p> <p>2. 保安林改良区域の現況調査</p> <p>3. 植栽樹種本数調査</p>	<p>1. 松くい虫感染源解決策に係る箇所選定と地元対策調査</p> <p>2. 保安林改良区域の現況調査</p> <p>3. 植栽樹種本数調査</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>本数</th> <th>樹種</th> <th>本数</th> </tr> <tr> <td>イス</td> <td>190^本</td> <td>ツバキ</td> <td>92^本</td> </tr> <tr> <td>クス</td> <td>182</td> <td>ヤマモミ</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>マアハシ</td> <td>143</td> <td>モクマオ</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>キョクワ</td> <td>108</td> <td>モクノキ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td colspan="3">771本</td> </tr> </table>	樹種	本数	樹種	本数	イス	190 ^本	ツバキ	92 ^本	クス	182	ヤマモミ	38	マアハシ	143	モクマオ	11	キョクワ	108	モクノキ	7	計	771本			
樹種	本数	樹種	本数																																																					
クス	186 ^本	ヤマモミ	50 ^本																																																					
イス	132	マアハシ	70																																																					
ツバキ	101	モクマオ	25																																																					
キョクワ	76	モクノキ	8																																																					
アラカ	2																																																							
計	646本																																																							
樹種	本数	樹種	本数																																																					
イス	190 ^本	ツバキ	92 ^本																																																					
クス	182	ヤマモミ	38																																																					
マアハシ	143	モクマオ	11																																																					
キョクワ	108	モクノキ	7																																																					
計	771本																																																							

(自主課題)

昭和59年度技術開発実施報告書

年度	経費別	継続	経常別 経常 非常	1-ク	担当	課	開発箇所	産見島	期間	昭和 56年度 ～ 昭和 63年度	予算	技術	開発	経費	品名	数量	単位	金額	
																		千円	
56																			
57																			
58																			
59																			
60																			
61																			
62																			
63																			
64																			
65																			
66																			
67																			
68																			
69																			
70																			
71																			
72																			
73																			
74																			
75																			
76																			
77																			
78																			
79																			
80																			
81																			
82																			
83																			
84																			
85																			
86																			
87																			
88																			
89																			
90																			
91																			
92																			
93																			
94																			
95																			
96																			
97																			
98																			
99																			
100																			

期	日	経緯	場所	調査内容	担当者	備考	経費	車通	金額
期		1-2	松山郡 鹿野島	自主採集					円
期				松くい虫被害保存林の整備					
日				吹上浜の防備保存林の松くい虫感染源を解消するため昭和56年度から保存林改良事業着手し、より整備状況に付加へて今後の指針を得。					
				年 度 別 分					
				上 述 諸 項					
				調査内容					
				<p>(1) 松くい虫感染源に係る問題点とその対策</p> <p>(2) 調査</p> <p>1. 植栽樹種の選定</p> <p>2. 植栽本数調査</p> <p>3. 成立本数調査</p> <p>4. 成長量調査</p> <p>5. 稚樹発生状況調査</p>					
				<p>昭和56, 57年度植栽完了</p> <p>成立本数調査</p> <p>成長量調査</p> <p>稚樹発生状況調査</p> <p>以下調査実施</p> <p>昭和58年10月</p> <p>昭和59年4月</p> <p>昭和59年10月</p> <p>昭和60年3月</p> <p>記録用別紙にて実施</p>					
				<p>1. 成立本数調査</p> <p>2. 成長量調査</p> <p>3. 稚樹発生状況調査</p>					
				<p>成育調査</p> <p>吹上浜の松くい虫被害は枯損が多 活樹しているものの成育が悪い。 その他の広葉樹は被害を 受けていないものの成育が特に よくその他は活着しているものの成 育はあまりよくない。</p> <p>稚樹発生状況調査</p> <p>半日陰地の吹上浜湖のフクロ ツバキの稚樹発生は認められ た。この標地状態の地積木 の多い乾燥気味のフクロツバ キの侵入が多くフクロツバ キの稚樹の発生は多い。</p> <p>成長量調査</p> <p>調査経過記録による。</p>					

成 立 本 数 調 査 表

鹿兒島管林署

昭 和 56 年 度 植 栽

番号	樹 種	植栽 本数	55年10月調査		56年4月調査		55年10月調査		56年4月調査		年 月 調査 本数	年 月 調査 %	年 月 調査 本数	年 月 調査 %	年 月 調査 本数	年 月 調査 %
			成立本数	成立%	本数	%	本数	%	本数	%						
1	ス	186	176	94.6	176	94.6	176	94.6	186	94.1						
2	イ	132	129	97.7	129	97.7	127	96.2	126	95.5						
3	ツバキ	101	99	98.0	99	98.0	99	98.0	99	98.0						
4	キツクツク	76	48	63.2	41	53.9	41	53.9	28	36.8						
5	ヤマモミ	50	47	94.0	47	94.0	46	92.0	46	92.0						
6	マテバシイ	70	70	100.0	70	100.0	70	100.0	70	100.0						
7	モクマオ	25	19	76.0	6	24.0	6	24.0	6	24.0						
8	モクノキ	2	2	100.0	2	100.0	2	100.0	2	100.0						
9	アサカシ	4	4	100.0	4	100.0	4	100.0	4	100.0						
計		646	594	92.0	574	88.9	571	88.4	556	86.1						

昭 和 57 年 度 植 栽

番号	樹 種	植栽 本数	56年10月調査		57年4月調査		56年10月調査		57年4月調査		年 月 調査 本数	年 月 調査 %	年 月 調査 本数	年 月 調査 %	年 月 調査 本数	年 月 調査 %
			成立本数	成立%	本数	%	本数	%	本数	%						
1	イ	190	183	96.3	183	96.3	183	96.3	183	96.3						
2	ス	182	170	93.4	170	93.4	172	94.5	170	93.4						
3	マテバシイ	143	138	96.5	138	96.5	136	95.1	136	95.1						
4	キツクツク	108	61	56.5	34	31.5	24	22.2	24	22.2						
5	ツバキ	92	92	100.0	92	100.0	92	100.0	92	100.0						
6	ヤマモミ	38	37	97.4	37	97.4	37	97.4	37	97.4						
7	モクマオ	11	8	72.7	3	27.3	1	9.1	1	9.1						
8	モクノキ	7	7	100.0	7	100.0	7	100.0	7	100.0						
計		771	698	90.5	668	86.6	652	84.6	652	84.6						

合計 1417

成長量調査表

鹿野島営林署

番号	樹種	58 10月26日 調査				59. 4月16日 調査				59 10月11日 調査				60 3月13日 調査			
		直径(D) cm	成長比	樹高(H) m	成長比	D	%	H	%	D	%	H	%	D	%	H	%
1	ツバキ	6.8	0	4.40	0	6.8	0	4.50	102	7.0	103	4.50	102	7.0	103	4.50	102
2	ヤマモミ	2.9	0	2.13	0	2.9	0	2.14	0	2.9	0	2.14	0	2.9	0	2.14	0
3	アス	9.7	0	4.48	0	9.7	0	4.64	104	9.8	101	4.65	104	9.8	101	4.65	104
4	イ	4.1	0	2.53	0	4.1	0	2.69	106	4.5	110	2.69	106	4.5	110	2.69	106
5	アス	12.9	0	3.42	0	12.9	0	3.42	0	12.9	0	3.47	101	12.9	0	3.47	101
6	モリマキ	根元径mm 11.0	0	1.80	0	枯損			0								
7	ツバキ	7.1	0	2.94	0	7.1	0	3.01	102	7.1	0	3.05	104	7.1	0	3.05	104
8	マテバシ	2.1	0	2.14	0	2.1	0	2.19	102	3.0	143	2.27	106	3.0	143	2.27	106
9	ヤマモミ	根元径mm 10.0	0	1.30	0	21.0	210	1.30	0	27.0	270	1.47	113	27.0	270	1.47	113
10	イ	6.5	0	3.27	0	6.5	0	3.35	102	6.5	0	3.35	102	6.5	0	3.35	102
11	キヨウケツウ		0	0.36	0	枯損			0								
12	アス	10.5	0	3.92	0	10.5	0	3.96	101	10.5	0	3.96	101	10.5	0	3.96	101
13	アス	9.1	0	4.36	0	9.1	0	4.26	98	9.3	102	4.33	99	9.3	102	4.33	99
14	イ	6.4	0	3.83	0	6.4	0	3.78	99	6.4	0	3.81	99	6.4	0	3.81	99
15	ヤマモミ	0.9	0	2.05	0	2.0	200	2.05	0	3.5	389	2.07	101	3.5	389	2.07	101
16	マテバシ	1.6	0	1.96	0	2.2	138	1.96	0	3.8	238	2.03	104	3.8	238	2.03	104
17	ツバキ	5.1	0	2.70	0	5.4	106	2.74	101	5.5	108	2.93	109	5.5	108	2.93	109
18	キヨウケツウ		0	0.43	0			0.45	105			0.49	114			0.49	114
19	モリマキ	根元径mm 2.0	0	1.03	0	枯損											
20	マテバシ	6.4	0	2.21	0	6.4	0	2.21	0	6.4	0	2.36	107	6.4	0	2.36	107
21	アス	8.6	0	3.04	0	8.6	0	3.08	101	8.9	103	3.19	105	8.9	103	3.19	105
22	ツバキ	5.0	0	3.98	0	5.0	0	4.02	101	5.0	0	4.02	101	5.0	0	4.02	101
23	イ	8.5	0	2.77	0	8.5	0	2.86	103	8.5	0	2.86	103	8.5	0	2.86	103
24	アス	12.0	0	3.79	0	12.0	0	3.88	102	12.5	104	3.98	105	12.5	104	3.98	105
25	ヤマモミ	1.1	0	1.77	0	2.0	182	1.77	0	3.5	318	1.82	103	3.5	318	1.82	103
26	ツバキ	5.3	0	4.33	0	5.0	113	4.49	104	6.4	121	4.49	104	6.4	121	4.49	104

成長量調査表

鹿児島営林署

番号	樹種	58. 10月26日 調査				59. 4月12日 調査				59. 10月2日 調査				60. 3月12日 調査			
		直径(D)	成長比	樹高(H)	成長比	D	%	H	%	D	%	H	%	D	%	H	%
27	ツバキ	5.0	0	3.5	0	5.0	0	3.7	103	5.0	0	3.0	83	5.0	0	3.0	83
28	ヤマモモ	0.7	0	1.7	0	1.5	214	1.7	0	3.1	443	1.70	0	3.1	443	1.70	0
29	クヌギ	6.4	0	4.25	0	6.5	102	4.35	102	6.6	103	4.35	102	6.6	103	4.35	102
30	イヌ	6.3	0	2.71	0	6.3	0	2.50	103	6.4	102	2.80	103	6.4	102	2.80	103
31	ツバキ	5.3	0	3.57	0	5.3	0	3.77	106	5.3	0	3.77	106	5.3	0	3.77	106
32	クヌギ	5.6	0	2.67	0	5.6	0	2.76	0	5.6	0	2.76	103	5.6	0	2.76	103
33	マテバシイ	7.2	0	2.70	0	7.2	0	2.80	104	7.2	0	2.80	104	7.2	0	2.80	104
34	モクナギ	6.5	0	3.98	0	6.5	0	3.99	100	6.5	0	3.99	0	6.5	0	3.99	0
35	モクナギ	5.0	0	1.19	0	5.0	0	1.19	0	5.0	0	1.19	0	5.0	0	1.19	0
36	ツバキ	5.5	0	2.72	0	5.5	0	2.72	0	5.5	0	2.74	101	5.5	0	2.74	101
37	マテバシイ	1.6	0	1.94	0	1.6	0	1.97	102	2.7	189	1.97	102	2.7	189	1.97	102
38	クヌギ	7.0	0	3.66	0	7.0	0	3.90	107	7.4	108	3.90	107	7.4	108	3.90	107
39	ヤマモモ	1.4	0	2.05	0	2.0	143	2.10	102	2.2	157	2.10	102	2.2	157	2.10	102
40	イヌ	2.2	0	2.57	0	2.2	0	2.64	103	7.2	0	2.71	105	7.2	0	2.71	105
41	キョウキトウ		0	0.16	0		0	0.16	0		0	0.16	0		0	0.16	0
42	クヌギ	11.6	0	3.04	0	11.7	101	3.15	104	12.4	107	3.15	104	12.4	107	3.15	104
43	キョウキトウ	0.23	0	0.23	0	0.23	0	0.20	0		0	0.20	0		0	0.20	0
44	クヌギ	5.6	0	2.61	0	5.6	0	2.64	101	6.0	107	2.88	110	6.0	107	2.88	110
45	マテバシイ	1.8	0	2.13	0	1.8	0	1.57	74	2.7	150	1.63	77	2.7	150	1.63	77
46	イヌ	5.6	0	2.57	0	5.7	102	2.57	0	5.7	102	2.57	0	5.7	102	2.57	0
47	ツバキ	5.5	0	2.80	0	5.5	0	2.83	101	5.6	102	2.97	106	5.6	102	2.97	106
48	モクナギ	3.5	0	0.65	0	3.5	0	0.65	0		0	0.65	0		0	0.65	0
49	モクナギ	3.5	0	0.96	0	3.5	0	0.96	0		0	0.96	0		0	0.96	0
50	クヌギ	4.5	0	2.43	0	4.5	0	2.43	0	4.5	0	2.43	0	4.5	0	2.43	0
51	キョウキトウ	2.6	0	1.30	0	2.6	0	1.30	0		0	1.30	0		0	1.30	0
52	イヌ	9.9	0	2.65	0	9.0	101	2.65	0	9.0	101	2.65	0	9.0	101	2.65	0

成長量調査表

鹿児島営林署

番子	樹種	58. 10月26日 調査				59. 4月12日 調査				59. 10月11日 調査				60. 3月13日 調査			
		直径(D)	成長比	樹高(H)	成長比	D	%	H	%	D	%	H	%	D	%	H	%
53	ヤマモモ	1.4	0	1.54	0	1.5	107	1.61	105	3.9	279	1.64	106	3.9	279	1.64	106
54	クヌギ	4.7	0	2.32	0	4.7	0	2.34	101	4.7	0	2.45	106	4.7	0	2.45	106
55	マテバシ	1.6	0	2.10	0	1.6	0	2.10	0	2.8	175	2.15	102	2.8	175	2.15	102
56	クヌギ	5.0	0	2.90	0	5.0	0	2.90	0	5.0	0	2.95	102	5.0	0	2.95	102
57	クヌギ	6.9	0	2.87	0	7.0	101	2.87	0	7.1	103	2.87	0	7.1	103	2.87	0
58	ヤマモモ	1.3	0	1.56	0	1.3	0	1.57	101	2.8	215	1.62	104	2.8	215	1.62	104
59	クヌギ	4.6	0	1.56	0	4.6	0	1.57	101	5.0	115	1.65	106	5.3	115	1.65	106
60	マテバシ	1.3	0	1.90	0	2.0	154	1.92	101	3.5	269	1.95	103	3.5	267	1.95	103
計	60本																

植樹養生狀況調査

昭和三十九年四月

ポイント 番号	面積	58年定期調査		59年定期調査		60年定期調査		第 月調査		第 月調査		第 月調査		第 月調査	
		樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数	樹種	本数
		カマツ	35	カマツ	37	カマツ	30	カマツ	32						
1	1 m ²														
2	1 m ²	カマツ	1	カマツ	1	カマツ	1	カマツ	1						
3	1 m ²	カマツ	13	カマツ	14	カマツ	13	カマツ	14						
4	1 m ²	カマツ	4	カマツ	4	カマツ	3	カマツ	4						
5	1 m ²	カマツ	2	カマツ	10	カマツ	8	カマツ	14						
		スズナギ	1	スズナギ	1	スズナギ	1	スズナギ	1						
6	1 m ²	カマツ	3	カマツ	3	カマツ	3	カマツ	3						

植栽地

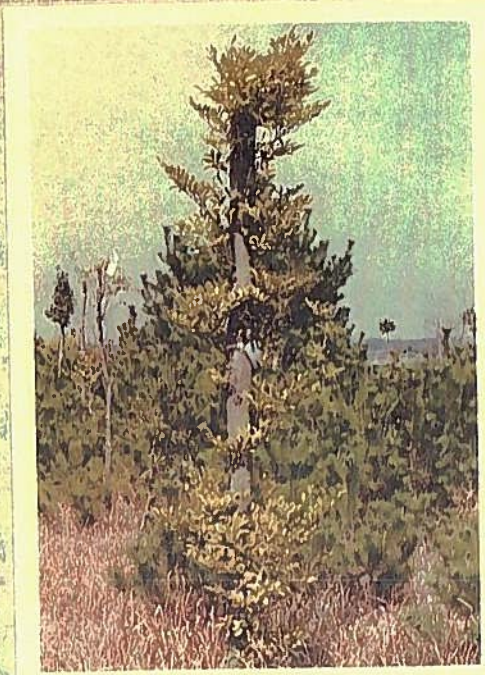
現況写真

鹿児島 森林署

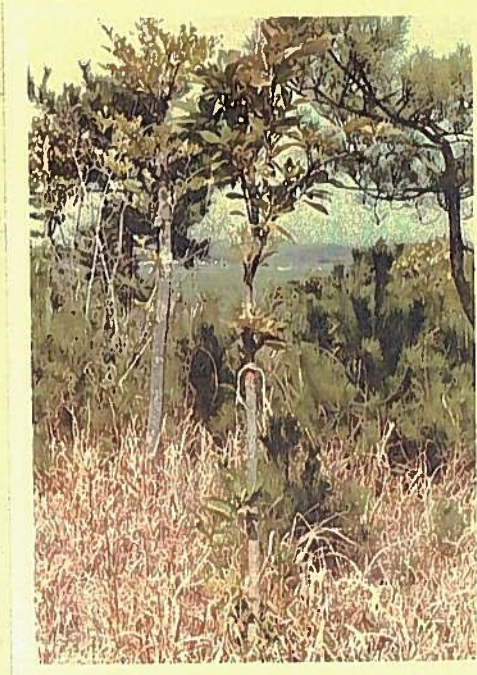


成育状況 no.1

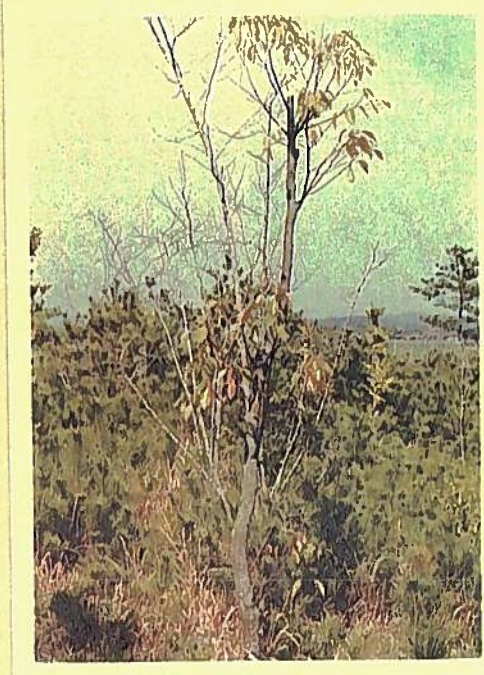
鹿児島



イヌノキ



マテバシイ



クス

no. 2

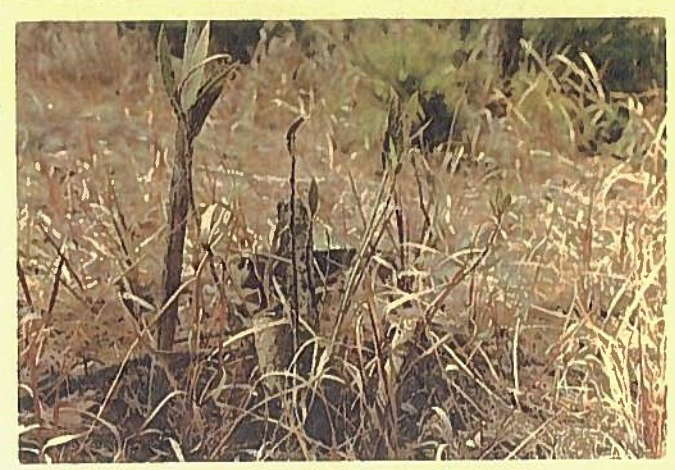
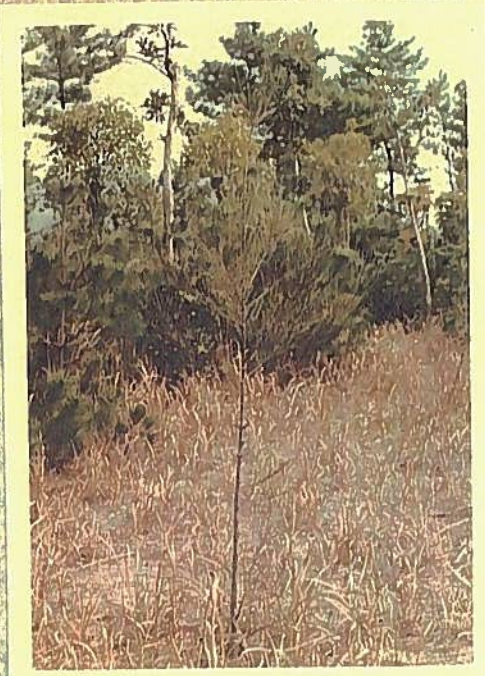


ツバキ

モクノキ

アラカシ

NO. 3



スギノマタ

キヨウキクトウ

椎樹発生状況 No.1

椎樹



クロマツ 32



クロマツ 1



クロマツ 14



クロマツ 4
ニセアカシヤ 1

1002



クロマツ 14
ハセ 1

クロマツ 3

課 題	新規 継続	継続	経常、特別別 目標との関連	経常 ノーク	担 当	治山課	開 発 箇 所	鹿 児 島	期 間	昭和 58年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
	継続																
目 的	松くい虫の被害保安林の整備									昭和 60年度			物 件 費	調査用品		円	千円
	吹上浜、堀砂防備保安林の松くい虫感染源を解消するため、保安林改良事業の整備状況について、調査検討を加え今後の指針とする。												役 務 費	現像、その他			
													人 件 費	(基 礎 職) 時	()		()
													計	—			()

全 体 計 画	実 施 経 過	当 年 度 分																																																		
		実 施 計 画	実 施 結 果	評 価 お よ び 普 及 計 画																																																
1. 松くい虫感染源に係る問題点とその対策 2. 試験地設定 3. 保安林改良区域の現状調査 4. 調査事項 (1) 植栽樹種特定調査 (2) 植栽本数調査 (3) 成立本数調査 (4) 生長量調査 (5) 稚樹発生状況調査	1. 試験地設定(昭和57年2月) (1) 場所 標川園有林8、琳班内 (2) 面積 0.50ha (3) 植栽樹種本数 <table border="1"> <tr><th>樹種</th><th>本数</th><th>樹種</th><th>本数</th></tr> <tr><td>クス</td><td>186本</td><td>ヤマモモ</td><td>50本</td></tr> <tr><td>イス</td><td>12</td><td>アザミ</td><td>70</td></tr> <tr><td>ツバキ</td><td>101</td><td>モクズナ</td><td>25</td></tr> <tr><td>アサギ</td><td>26</td><td>モクナ</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td>4</td><td></td><td>646本</td></tr> </table> 2. 試験地設定(昭和58年2月) <table border="1"> <tr><th>樹種</th><th>本数</th><th>樹種</th><th>本数</th></tr> <tr><td>イス</td><td>180本</td><td>ツバキ</td><td>82本</td></tr> <tr><td>クス</td><td>182</td><td>ヤマモモ</td><td>28</td></tr> <tr><td>アザミ</td><td>183</td><td>モクズナ</td><td>11</td></tr> <tr><td>アサギ</td><td>108</td><td>モクナ</td><td>2</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td></td><td>771本</td></tr> </table> 3. 調査事項 (1) 成立本数調査 (2) 生長量調査 (3) 稚樹発生状況調査	樹種	本数	樹種	本数	クス	186本	ヤマモモ	50本	イス	12	アザミ	70	ツバキ	101	モクズナ	25	アサギ	26	モクナ	2	計	4		646本	樹種	本数	樹種	本数	イス	180本	ツバキ	82本	クス	182	ヤマモモ	28	アザミ	183	モクズナ	11	アサギ	108	モクナ	2	計			771本	1. 調査事項 (1) 成立本数調査 (2) 生長量調査 (3) 稚樹発生状況調査	1. 調査事項 (1) 成立本数調査 (2) 生長量調査 (3) 稚樹発生状況調査	
樹種	本数	樹種	本数																																																	
クス	186本	ヤマモモ	50本																																																	
イス	12	アザミ	70																																																	
ツバキ	101	モクズナ	25																																																	
アサギ	26	モクナ	2																																																	
計	4		646本																																																	
樹種	本数	樹種	本数																																																	
イス	180本	ツバキ	82本																																																	
クス	182	ヤマモモ	28																																																	
アザミ	183	モクズナ	11																																																	
アサギ	108	モクナ	2																																																	
計			771本																																																	

松くい虫の被害保安林の整備

1. 成立本数調査

昭和56年度 9樹種 646本植栽、昭和57年度 8樹種 771本植栽 計 9樹種 1,417本が「植栽されたか」、昭和61年2月本数調査を行った結果、昭和56年度 106本、昭和57年度 136本計 242本の枯損があり平均 83%の活着率となった。
なお キョウチクトウ、モクマオは 活着率 7~2/10と低く、他の樹種は 70%以上の活着率であった。(表-1のとおりである。)

表-1 成立本数調査結果

樹種	昭和56年度植栽の分				昭和57年度植栽の分			
	調査本数	調査本数	植栽数	活着率	調査本数	調査本数	植栽数	活着率
クス	186	174	△12	95	182	169	△13	92
イヌ	132	126	△6	95	190	182	△8	96
ツバキ	101	98	△3	97	92	92	-	100
キョウチクトウ	76	16	△60	21	108	11	△97	10
ヤマモミ	50	45	△5	90	38	37	△1	97
マテバエ	70	70	-	100	143	136	△7	95
モクマオ	25	5	△20	20	11	1	△10	9
モクシキ	2	2	-	100	7	7	-	100
アラカシ	4	4	-	100	-	-	-	-
計	646	540	△106	84	771	635	△136	82
統計	1,417	1,175	△242	83				

2. 生長量調査

昭和56年度、昭和57年度植栽の8樹種について生長量調査を行ったが、4~5年生期にはまだ直径・樹高生長共に遅く、1/3程度生長しているのみに感じられる。今後生長をうながすための施肥などの管理が必要である。また、キョウチクトウの枯れが多いのは、ヒコバエの被害による。

その間にこの現象がみられる。又、昭和56年度植栽のモクマオ、昭和57年度植栽のモクマオ、キョウチクトウは調査木の全部枯死したため調査を取り止めることになり(表-2のとおり)。

()内は外書で樹元径を調査したものである。

表-2 生長量調査表

樹種	昭和56年度植栽			昭和57年度植栽			生長量		
	58年10月調査	61年2月調査		58年10月調査		61年2月調査		本数	樹高
クス	10本	樹高 2.3m	樹高 3.66m	10本	樹高 2.8m	樹高 3.81m	10本	樹高 2.5m	樹高 3.15m
イヌ	1	2.5	2.95	6	2.7	2.81	6	0.2	0.14
ツバキ	8	5.6	3.53	8	6.0	3.55	8	0.4	0.02
キョウチクトウ	(3)	(-)	(0.32)	(1)	(0.4)	(0.42)	(1)	(0.4)	(0.17)
ヤマモミ	(4)	(1.82)	(3)	(3.8)	(1.90)	(3)	(10.6)	(0.08)	
マテバエ	2	2.2	2.09	2	2.2	2.12	2	1.0	0.03
マテバエ	(4)	(2.9)	(2.06)	(4)	(4.3)	(2.03)	(4)	(1.4)	(0.03)
モクマオ	(3)	(7.7)	(1.35)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
モクシキ	1	2.5	3.98	1	2.5	4.09	1	0	0.11

(注) イヌ 樹高生長 0.14m は先枯れによるもので、キョウチクトウ本数(2)本 ヤマモミ本数(1)本モクマオ本数(3)本は枯死によるものである。

昭和57年度植栽

樹種	昭和58年10月調査			昭和61年2月調査			生長量		
	本数	樹高	樹高	本数	樹高	樹高	本数	樹高	樹高
クス	5本	4.9	2.96	5本	5.2	2.12	5本	0.3	0.24
イヌ	3	2.1	2.70	3	2.4	2.40	3	0.3	0.30
ツバキ	1	5.5	2.80	1	5.6	3.05	1	0.1	0.25
キョウチクトウ	(2)	(2.5)	(0.27)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
ヤマモミ	(1)	(1.4)	(1.54)	(1)	(3.2)	(1.80)	(1)	(3.8)	(0.26)
マテバエ	(2)	(1.7)	(2.12)	(2)	(2.7)	(1.86)	(2)	(1.2)	(0.26)
モクマオ	(2)	(3.5)	(0.81)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(注) クス、0.24m イヌ 0.30m マテバエ(0.26m)の樹高生長の遅きは先枯れによるもので、キョウチクトウ本数(2)本モクマオ本数(2)本は全部枯死によるものである。

3. 稚樹発生状況調査

プロット内の稚樹の発生は変らないが、稚樹の発生が多いプロットでは被圧による枯死がみられる。試験地内に発生したクロマツの稚樹は生育も良好で成林可能と考えられる。

なお、稚樹の発生が多い箇所では除間伐を検討する必要がある。又プロット内の稚樹の生長量の調査は行っていない。稚樹発生状況は表-3のとおりである。

表-3 稚樹発生状況調査

プロット番号	面積	樹種	58年10月	59年10月	60年3月	61年2月
			本数	本数	本数	本数
1	1m ²	クロマツ	35*	36*	32*	27*
2	1	"	1	1	1	1
3	1	クロマツ	13	13	14	15
		その他	-	-	-	2
4	1	クロマツ	4	3	4	4
		ニセアカシヤ	-	1	1	3
5	1	クロマツ	7	8	14	7
		ハゼ	1	1	1	0
6	1	クス	-	-	-	1
		クロマツ	3	3	3	3

本表は生長調査は行っていないので、調査した年にプロットの中に成立している稚樹の本数である。

<p>経常 1-7</p> <p>治山課 鹿児島</p> <p>56</p> <p>63</p> <p>吹上浜砂防備保安林の松くい虫感染源を解消するため、昭和56年度の保安林改良事業に着手しており整備状況について経年的な調査検討を加えて今後の指針を得る</p>			
<p>1. フックイムシ感染源に係る問題点とその対策</p> <p>2. 調査</p> <p>(1) 植栽本数調査</p> <p>(2) 成立本数調査</p> <p>(3) 生長量調査</p> <p>(4) 稚樹発生状況調査</p>	<p>昭和56年度57年度に植栽し58年度から年々2回経年的に調査</p> <p>昭和60年度の調査 全体計画の調査項目から</p> <p>60年10月 61年2月 } 実施</p>	<p>1. 成立本数調査</p> <p>2. 生長量調査</p> <p>3. 稚樹発生状況調査</p>	<p>植栽木147本活着64年2月調査で1175本枯損242本活着率82.9% 樹種ごとにフックイムシ、マダバシ、クス、イ、ヤブモ、が90%以上の活着であるがキョウキクトウモクモオは10%程度と低い。</p> <p>キョウキクトウ、モクモオを除く樹種ではマダバシの生長が良好でその他は劣りよくない。 梢頭部の萌芽枝の生長が不安定で枯死するものがあり特にヒコバエの発生が多いからこの現象がみられる。 キョウキクトウモクモオはほとんど生長がなく今後の生長を心配する。</p> <p>設定ポイントでの稚樹発生はほとんど変わらないが稚樹発生のかいポイントでは被圧による枯死がみられる 試験地内にも発生したものの稚樹は多く生長が良好で成林の可能性は十分である この稚樹を利用して除間伐施策と検討の要がある。</p>

(H24) 〇〇-

課 題

松くい虫の被害保安林の整備

別紙調査表のとおり